

事業報告書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

1 会務の運営

本法人の円滑な運営を図るため、次の会議を開催した。

(1) 正副会長会議並びに支部長会議

① 令和2年第1回正副会長並びに支部長会議開催

日時 令和2年10月5日（月）午前10時00分

場所 蕨市総合社会福祉センター 3階集会室1 多目的ホール

議事

ア 第41回蕨市社会福祉大会、第30回ふれあい広場の開催について

イ 今後の社協事業について

ウ 老人福祉センター松原会館の現状と今後について

エ 各支部情報交換について

② 令和2年第2回正副会長会議開催

日時 令和2年12月3日（木）午前10時00分

場所 蕨市総合社会福祉センター 3階集会室2

議事

ア 第41回蕨市社会福祉大会表彰式の開催について

(2) 理事会

① 令和2年第2回理事会開催

日時 令和2年4月1日（水）午前10時00分

場所 蕨市総合社会福祉センター 3階集会室1 多目的ホール

種別 臨時の理事会

議事

ア 報告第7号 職員の派遣に関する取決め書に基づく派遣職員について

イ 議案第17号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会副会長及び常務理事の選定について

② 定款第30条第2項の規定に基づく決議の省略による理事会の決議の
目的である事項の提案

提案日 令和2年5月22日（金）

理事会の決議があったものとみなされた日 令和2年5月28日（木）

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

- ア 報告第8号 専決処分の承認を求めることについて
令和元年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会
計補正予算（第2号）について
- イ 報告第9号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
福祉資金貸付金徴収不能額の欠損処分について
- ウ 認定第1号 令和元年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
事業報告認定について
- エ 認定第2号 令和元年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会
計決算認定について
- オ 議案第18号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
理事選任候補者の推薦について
- カ 議案第19号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
評議員会の招集について

③ 令和3年第1回理事会開催

日時 令和3年3月12日（金）午前10時00分

場所 蕨市総合社会福祉センター 3階集会室1 多目的ホール

種別 通常 of 理事会

議事

- ア 報告第1号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
非常勤職員就業規則の一部を改正する規則
- イ 報告第2号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
職員就業規則の一部を改正する規則
- ウ 報告第3号 専決処分の承認を求めることについて
社会福祉法人蕨市社会福祉協議会

- 職員給与規程の一部を改正する規程
- エ 報告第 4 号 蕨市総合社会福祉センター内社会福祉施設の
指定管理者の指定について
- オ 報告第 5 号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告につい
て
- カ 議案第 1 号 令和 2 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会
計補正予算（第 1 号）について
- キ 議案第 2 号 積立資産の取崩しについて
- ク 議案第 3 号 有償ボランティアサービス事業の開始について
- ケ 議案第 4 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
有償ボランティアサービス事業実施要綱
- コ 議案第 5 号 令和 3 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
事業計画について
- サ 議案第 6 号 令和 3 年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会
計収支予算について
- シ 議案第 7 号 蕨市公益的法人等への職員の派遣等に関する条
例に基づく取決め書の締結について
- ス 議案第 8 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
定款の一部変更について
- セ 議案第 9 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
事務局規程の一部を改正する規程
- ソ 議案第 10 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
職員給与規程の一部を改正する規程
- タ 議案第 11 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
経理規程の一部を改正する規程
- チ 議案第 12 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
クレジットカード取扱規程
- ツ 議案第 13 号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会評議員会の招
集について
- テ 議案第 14 号 役員等賠償責任保険契約の締結について
- ト 議案第 15 号 施設長等の選任及び解任について

(3) 評議員会

① 令和2年第2回評議員会開催

日 時 令和2年6月16日（火）午前10時00分

場 所 蕨市総合社会福祉センター 3階集会室1 多目的ホール

種 別 定時評議員会

議 事

- ア 報告第2号 専決処分の承認を求めることについて
令和元年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会計補正予算（第2号）について
- イ 認定第1号 令和元年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会事業報告認定について
- ウ 認定第2号 令和元年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会計決算認定について
- エ 議案第8号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会理事の選任について

② 令和3年第1回評議員会開催

日 時 令和3年3月23日（火）午前10時00分

場 所 蕨市総合社会福祉センター 3階集会室1 多目的ホール

種 別 臨時評議員会

議 事

- ア 議案第1号 令和2年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会計補正予算（第1号）について
- イ 議案第2号 有償ボランティアサービス事業の開始について
- ウ 議案第3号 令和3年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会事業計画について
- エ 議案第4号 令和3年度社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会計収支予算について
- オ 議案第5号 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会定款の一部変更について

(4) 監査会

① 令和2年第1回監査会開催

日 時 令和2年5月21日（木） 午前10時00分

場 所 蕨市総合社会福祉センター 2階福祉団体連絡室

審 査

ア 令和元年度 理事の職務執行状況について

イ 令和元年度 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会事業報告について

ウ 令和元年度 社会福祉法人蕨市社会福祉協議会会計決算について

2 会員確保と広報啓発活動の推進

地域福祉の推進は、地域住民一人ひとりが福祉活動やボランティア活動に参加することを基本とし、共に支え合い、共に助け合う理念のもと、社協支部と連携し、会員確保と広報啓発活動の推進に努めた。

なお、社協支部で行う会費の集金については、納期を定めず年間を通しての活動とし、新型コロナウイルス感染症予防対策に充分注意した活動をお願いした。

(1) 社協会費（年会費）一般 1,000 円／口・法人 5,000 円／口

会員種別	会員数	口 数	金 額
一般会員	3,554 人	3,972 口	3,972,000 円
法人会員	110 人	143 口	715,000 円
合 計	3,664 人	4,115 口	4,687,000 円

(2) 広報啓発活動

ア 広報紙「わらび社協福祉だより」の発行（共同募金財源）

年3回（5月・11月・1月）全戸配布 36,000部

イ 2020年夏はじめてのボランティア体験プログラムの発行
学校、公共施設等へ配布、町会回覧

（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

ウ わらびファミサポ通信及びリーフレットの発行

年4回（4月・7月・10月・1月）会員他、関係機関へ配布

エ ファミリー・サポート・センター会員募集チラシ及びポスターの配布

3月・6月・10月各公共施設に配布
オ 手話通訳派遣事務所だよりの発行
6月・11月各公民館等へ配布

3 地域福祉の推進

新型コロナウイルス感染症予防対策に充分注意しながら支部活動を実施した。

(1) 支部活動の推進

小地域活動の拠点として、5支部により地域性を活かした自主的な事業を積極的に展開し、地域福祉の推進が図られた。

① 支部活動の充実

支部助成金 1,250,000円（活動費）
小地域活動助成 254,520円（会費還元金）
事業費補助 166,000円（給食事業費）

② 支部による地域福祉活動の拡充

ア 愛の給食サービスの実施

実施状況

（1食 600円・調味料 1ヵ月 2,000円）

支部別内訳

支部名	配食数	実施日
錦町支部	0食	毎月第2・第3・第4火曜日
北町支部	0食	毎週金曜日
中央支部	52食	毎月第1～第4金曜日
南町支部	223食	毎月第2・第3・第4金曜日
塚越支部	0食	毎週金曜日

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止した支部もあったが、お弁当を購入し配食するなど工夫をしながら実施した。

イ 愛の給食サービス担当者情報交換会

各支部が行う愛の給食サービスにおいて、情報の共有を目的として実施。

令和2年8月20日総合社会福祉センターにて開催

（支部長及び担当者2～3名出席）

ウ 会食事業の実施

※新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を予定していた全ての支部が中止とした。

支部名	開催日（予定）	場 所
錦町支部	令和 2 年 12 月	蕨市総合社会福祉センター
北町支部	令和 2 年 11 月 20 日	北町公民館
中央支部	令和 2 年 10 月 27 日	中央公民館
南町支部	令和 2 年 10 月	南公民館
塚越支部	令和 2 年 11 月 11 日	東公民館

エ 見守り活動事業の実施

各社協支部において、愛の給食を配食する際の安否確認や毎日の声かけ、定期的な訪問による話し相手のほか、適宜、外観からの見守りなど生活環境や健康上の変化を見守り、事故や緊急事態を未然に防ぐため、見守り活動事業を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した支部もあった。

見守り対象者数内訳

支部名	男性	女性	合計数
錦町支部	0 人	6 人	6 人
北町支部	9 人	16 人	25 人
中央支部	1 人	8 人	9 人
南町支部	25 人	76 人	101 人
塚越支部	1 人	4 人	5 人
合 計	36 人	110 人	146 人

オ 蕨市地域交流サロンの運営

※新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての支部でのサロン活動が中止となった。

支部名	サロン名	開催場所	開催日	開催回数	参加者延べ人数
錦町支部	りんごサロン	松原会館 西公民館	毎月第 2・第 4 水曜日	0 回	0 人
北町支部	来た!?コミサロン	北町公民館	毎月第 2・第 4 木曜日	0 回	0 人

中央支部	仲良しサロン	中央3丁目旭町町会集会所	毎月第4水曜日	0回	0人
塚越支部	ふれあいサロン	けやき荘	毎月第2・第4月曜日	0回	0人
合計				0回	0人

カ 社協支部情報交換会の実施

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各支部の状況確認や意見交換、情報提供等を目的として開催した。

- ① 令和2年 4月 1日 支部長出席
- ② 令和2年 6月25日 支部長及び担当者2～3名出席
- ③ 令和2年10月 5日 支部長出席

(2) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の実施

高齢者や知的障害・精神障害等のある方に対し、地域で安心して生活ができるよう生活支援員が定期的に訪問し、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理を行い支援した。

新型コロナウイルス感染症予防対策に充分注意しながら支援活動を実施した。

- ① 契約成立件数 0件
- ② 解約件数 0件
- ③ 実利用者数 2人（令和3年3月31日現在）
- ④ 生活支援員数 2人
- ⑤ 相談援助件数

	本事業に関するもの				その他	合計
	認知症 高齢者等	知的障害者	精神障害者	不明 その他		
a. 問合せ件数 (制度、事業について)	1	0	1	0	0	2
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	8	2	1	0		11
c-1. 相談援助件数 (a b以外) 契約前	36	1	4	0		41
c-2. 相談援助件数 (a b以外) 契約後	0	0	82	0		82
合計	45	3	88	0	0	136

⑥ 生活支援員活動実施回数

対 象	認知症 高齢者等	知的 障害者	精 神 障害者	合 計
回 数	0	0	48	48

(3) ファミリー・サポート・センター事業の実施

子育ての援助を行いたい方と子育ての援助を受けたい方を会員として登録し、会員間による子育ての援助活動を支援することにより、仕事と家庭の両立を図るとともに、地域の子育て支援機能の強化を図り、親が安心して子育てすることのできる環境づくりを推進した。

また、マスクの着用や外出先から帰宅時の消毒の徹底など新型コロナウイルス感染症に充分注意しながら支援活動を実施した。

① 会員数（令和3年3月31日現在）

会員種別	会員数
依頼会員	478人
提供会員	100人
両方会員	89人
合 計	667人

② 援助活動

ア 事前打合せ件数 52件 222人

イ 援助活動件数 1,272件

③ 説明会・講習会 2回 4人

（4月、1月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

④ 個別説明

平日窓口対応 31回 登録人数 31人

イベント時対応 （新型コロナウイルス感染症の影響により
センターまつり、ふれあい広場が中止）

⑤ サブリーダー会議 10回 47人

⑥ 全体交流会

（5月、12月新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

⑦ 提供・両方会員交流会 1回 11人

⑧ フォローアップ講習会

（6月新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

(4) ボランティアセンターの運営と地域ボランティアの育成

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえボランティアの育成に努めた。また、福祉体験用具の消毒を行い感染予防に努めた。

① ボランティア登録数

ボランティアグループ登録数 42 グループ (1,160 人)

個人ボランティア登録数 104 人

② ボランティア保険加入人数 1,755 人

③ ボランティア派遣件数

派遣依頼件数 1 件

派遣実績 1 件

派遣人員 2 個人

派遣内訳

派遣先	件数
福祉施設	0 件
個人	1 件
合計	1 件

※スマイラ松原・ドリーマ松原・ケアハウス松原のボランティア受入数
延べ 27 人

④ ボランティア育成等に関する講座等の実施

ア 親子向けはじめての手話の開催

(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

イ 蕨市聴覚障害者協会並びに蕨市登録手話通訳者の協力により講習会の開催

○ 入門手話講習会 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

○ 初級手話講習会 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

ウ 傾聴ボランティア養成講座の開催

(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

⑤ ボランティア体験学習事業の実施

2020 年夏はじめてのボランティア体験プログラム事業

(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

福祉体験学習事業の実施

小学校・中学校と連携し、児童・生徒を対象として、福祉活動を体験、学習することにより、社会福祉への理解と関心を深め、社会連帯意識の高揚を図るとともに、児童・生徒を通じて、家庭及び地域社会への啓発を図ることを目的として、福祉体験学習事業を推進した。

なお、福祉体験用具の貸出しの際は、都度、消毒を行い新型コロナウイルス感染症予防対策に努めた。

体験メニュー	延実施回数
手話体験学習会	0回
点字体験学習会	1回
アイマスク・車椅子体験学習会	0回
高齢者疑似体験学習会	0回
福祉体験用具の貸出	12回
合 計	13回

(5) 心配ごと相談所の開設

開設日数 9日

(4月、5月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

件 数 2件

相談員 10人

相談内訳

区 分	件数	区 分	件数	区 分	件数
生 計	1件	離 婚	0件	老人福祉	0件
年 金	0件	医 療	0件	苦 情	0件
住 宅	0件	財 産	0件	職業生業	0件
家 族	0件	保健衛生	0件	そ の 他	1件
児童福祉	0件	人権法律	0件	合 計	2件

4 高齢者福祉事業の推進

(1) 老人福祉センター松原会館の運営

生涯学習及び憩いの場の提供施設として、各種趣味講座や健康教室等の事業を実施し、利用者の拡大を図ると共に、施設の有効活用を検討しながら、より地域に開かれた福祉サービスの拠点となるよう努めた。

本年度は、施設の老朽化及び耐震化に対する大規模改修工事施工に向け、その実施設計を行った。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、利用者が安全に利用できるよう換気や消毒スプレーの設置、器具の消毒など対策を講じた。

① 開館日数 205日 (4月及び5月は休館)

② 年間利用者延人数 1,958人 (1日平均 9人)

ア 個人 211人

- イ 団体 912 人
- ウ 講座・相談事業等 766 人
- エ 健康教室 5 回 参加延人数 69 人

(2) 軽費老人ホームケアハウス松原の受託経営（指定管理者制度事業）

入所者自身の自主性を尊重し、自立生活を側面から支援することを基本に、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら共同生活の円滑化、入所者の希望を取り入れての季節の催事等、事業の充実に努めるとともに、快適でゆとりある生活ができるだけ長く送れるよう休日や緊急時の対応も含めて支援した。

今年度も引き続き、居室内の経年劣化に伴う冷暖房設備等を計画的に実施した。また、パンフレット等で広く周知活動を行った。

① 利用状況（令和3年3月31日現在）

- 定 員 27室 30名
(1人用居室24室24名・2人用居室3室6名)
- 入所者数 18室 20名
(1人用居室16室16名・2人用居室2室4名)

平均年齢 83.7才

② 事業実施状況

実施日	事業内容
4月	健康相談
7月 1日	七夕まつり
7月28日	水害、火災想定・夜間避難訓練
9月18日	秋の交流会<会食・ビンゴゲーム>
10月	健康相談
11月13日	蕨市総合社会福祉センター「消防訓練」
12月25日	年忘れ会（会食等）
1月 1日	お正月祝い膳（おせち料理）
2月 2日	豆まき・茶話会
3月26日	年度末懇談会・茶話会（新年度事業計画等説明）
<p>【入所選考委員会】 ○ 1回開催</p> <p>【レクリエーション】 ○ 毎週火曜日 体操・各種ゲーム・映画鑑賞</p>	

- (3) 高齢者等世話付住宅（市営赤田住宅）への生活援助員の派遣
生活援助員を派遣し、生活相談・安否確認・一時的な家事援助等のサービスを行うとともに、自立した快適な在宅生活が営めるよう催し物を企画・開催し、シルバーハウジング入居者間はもとより、一般住宅居住者との交流の促進に努めてきた。

① 利用状況（令和3年3月31日現在）

定員 24室 26名

(1人用居室22室22名・2人用居室2室4名)

入所者数 22室 23名

(1人用居室20室20名・2人用居室2室3名)

平均年齢 76.3才

② 事業実施状況

実施日	事業内容
7月 7日	七夕飾り付け・交流
10月30日	ぬり絵
【自主活動】	
○午前10時～ ストレッチ・わらび元気体操・交流	

(4) 蕨市第一地域包括支援センターの受託経営

蕨市第一地域包括支援センターは、高齢者が住みなれた地域で尊厳あるその人らしい生活が維持できるよう、高齢者やその家族の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行った。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い高齢者の外出が困難となり歩行や認知能力の低下といった新たな課題が出現しているため、包括支援センターの業務が中断されることのないよう感染対策を行い、業務継続できる体制作りを行った。

① 総合相談支援業務

地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、65歳以上の高齢者の総合相談窓口として、介護保険利用援助のみならず高齢者の健康問題や近隣トラブル、経済・精神的問題、認知症対応等について取り組んだ。

相談延件数 4,240件

相談内訳 介護保険関係 1,970件

住まい・施設の相談 226件

福祉用具・住宅改修	250 件
認知症関係	390 件
介護予防関係	30 件
医療関係	407 件
家族・近隣相談	181 件
高齢者福祉サービス	83 件
金銭・精神的な訴え	181 件
申請代行	83 件
安否確認	105 件
その他	334 件

② 権利擁護業務

困難な状況にある高齢者が安心して生活することができるよう、専門的・継続的な視点から支援を行った。

相談件数	128 件
相談内訳	成年後見制度関係 89 件
	高齢者虐待関係 38 件
	消費者被害関係 1 件

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

多職種相互の連携、協働等による体制づくりや介護支援専門員に対する支援等を行った。

ア 地域ケア会議の開催	8 件
イ ケアマネジャー研修及び交流会の実施	令和 2 年度中止
ウ 介護交流サロンの実施	令和 2 年度中止

④ 総合事業

◎一般介護予防事業

ア 介護予防把握事業

○ 担当地区高齢者	10,450 名
○ 介護予防事業対象者把握者数	77 名
○ 住民運営の通いの場につながった人数	0 名

イ 介護予防普及啓発事業

○ バランスアップ教室	延参加者	12 名 (1 か所/3 回)
○ 脳はつらつ教室	延参加者	24 名 (1 か所/2 回)
○ 出前教室	延参加者	25 名 (1 か所/1 回)

- だれでもサロン 令和2年度中止

ウ 地域介護予防活動支援事業

- 介護予防サポーター養成研修等 令和2年度中止
- いきいきわらび活動状況 延参加者 707名(9か所/162回)
- 住民運営通いの場(いきいき百歳体操)参加状況
延参加者 1,479名(9か所/162回)

⑤ 介護予防サービス計画の作成

ア 指定介護予防事業(要支援状態のケアプラン作成)

ケアプラン作成件数			ケアプラン 委託件数	ケアプラン 新規作成
要支援1	要支援2	計		
663件	994件	1,657件	852件	76件

イ 介護予防ケアマネジメント

ケアプラン作成件数				ケアプラン 委託件数	ケアプラン 新規作成
事業対象者	要支援1	要支援2	計		
74件	1,059件	652件	1,785件	874件	57件

⑥ 認知症総合支援事業(認知症地域支援推進員の配置)

- 認知症地域支援推進員配置の周知及び蕨市認知症安心ガイドブックの普及啓発
- 認知症サポーターフォローアップ講座 令和2年度中止
- 認知症カフェ事業 令和2年度中止
- 認知症の人とその家族を支援する相談支援・支援体制の構築

(5) 生活支援体制整備事業の受託

生活支援体制整備事業では、高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が維持できるよう、地域における生活支援サービスの提供体制整備に向けた取り組みを推進した。

① 地域ニーズと資源の見える化、問題提起

- ア 地域支えあい推進協議を開催(書面)
- イ 地域の社会資源情報一覧更新
- ウ 「あるあるおさんぽマップ」の作成
- エ 蕨市地域交流サロンの運営支援

オ 75歳以上の一人暮らし高齢者を対象に困りごとアンケートを実施

② 資源開発

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、事業を実施した。

ア 生活支援サポーター養成講座を開催
(全3回、5名の市民が参加)

イ 有償ボランティアサービス・モデル事業の運営支援

【有償ボランティアサービス・モデル事業会員数】 (令和3年3月31日現在)

	北町	塚越	南町	中央	錦町	合計
依頼会員	26人	22人	31人	54人	33人	166人
提供会員	17人	10人	14人	29人	18人	88人
両方会員	1人	0人	0人	0人	0人	1人
合計	44人	32人	45人	83人	51人	255人

【有償ボランティアサービス・モデル事業活動件数及び時間】 (令和3年3月31日現在)

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
掃除	2	3	6	13	8	6	12	14	8	2	7	8	89
	2:00	2:30	7:00	11:30	8:30	7:30	15:00	18:00	12:30	2:00	8:00	11:00	105:30
買物	5	1	4	0	4	1	6	5	6	1	1	1	35
	4:30	1:00	2:30	0:00	2:30	1:00	6:30	5:30	8:00	1:00	1:00	1:00	34:30
ゴミ出し	18	16	19	18	14	14	13	12	12	13	12	13	174
	9:00	8:00	9:30	9:00	7:00	7:00	6:30	6:00	6:00	6:30	6:00	6:30	87:00
外出	2	2	5	3	3	0	0	0	0	0	1	1	17
	2:00	2:00	3:00	3:00	3:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:30	0:30	14:00
通院付 添い	4	8	4	8	11	8	7	7	5	0	2	5	69
	3:30	22:30	12:30	19:30	21:00	16:30	21:00	22:00	11:00	0:00	4:30	16:00	170:00
薬受取	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	0:00	0:00	0:00	0:30	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	2:00	0:00	0:00	2:30
庭木の 手入れ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	0:00	0:00	0:00	0:00	1:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	1:00

その他	2	1	1	3	1	4	2	4	2	1	0	1	22
	3:00	2:00	1:00	2:30	0:30	5:30	5:00	4:00	2:30	0:30	0:00	0:30	27:00
合計	33	31	39	46	42	33	40	42	33	18	23	29	409
	24:00	38:00	35:30	46:00	43:30	37:30	54:00	55:30	40:00	12:00	20:00	35:30	441:30

5 在宅福祉サービス事業の推進

(1) 居宅介護支援事業の実施

要介護と認定された高齢者等に対し、可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう心身の状態、有する能力の状況等に応じて適切な保険・医療サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう配慮し、居宅介護支援事業を実施した。また、本年度については、新型コロナウイルス感染症の対策として、事務所内パーティションの設置や換気を徹底し、テレワークを導入する等、感染予防に努めた。

居宅介護支援介護度別提供状況

要介護 1	976 件	
要介護 2	628 件	
要介護 3	299 件	
要介護 4	231 件	
要介護 5	151 件	計 2,285 件（月平均約 190.4 件）

(加 算)

初回加算	69 件	入院時連携	21 件
退院退所	7 件		

特定事業所加算Ⅱ 令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月

① 介護予防サービス計画作成受託件数

要支援 1	39 件	
要支援 2	222 件	計 261 件（月平均約 21.8 件）

② 認定調査実施状況

更 新	115 件	
区分変更	2 件	計 117 件（月平均約 9.8 件）

(2) 訪問介護事業の実施

日常生活を営むのに支障のある方（高齢者、障害者等）の家庭に対し、ホームヘルパーを派遣して、身体介護、家事援助等の日常生活の支援を

行い、居宅で自立した生活を送るのに必要なサービスの提供を行うとともに移動支援事業においても、社会生活上必要な外出及び余暇活動等、社会参加のための外出の移動支援サービスの提供に努めた。また、本年度については、新型コロナウイルス感染症の対策として、訪問時の消毒の徹底や、事務所内パーテーションの設置や換気を徹底し、感染予防に努めた。

① 介護保険法事業（月平均利用実人数 52人）

訪問回数

身体介護 2,450回（1,419時間）

身体生活 471回（471時間）

生活援助 1,327回（1,159時間）

訪サⅠ 927回（760時間）

訪サⅡ 683回（590時間）

訪サⅢ 0回（0時間）

② 障害者総合支援法事業（月平均利用実人数 24.3人）

身体介護 1,393回（1,096時間）

家事援助 634回（625時間）

重度訪問介護 202回（303時間）

同行援護 37回（75時間）

移動支援 386回（361時間）

③ 24時間緊急派遣事業

派遣回数 121回

(3) 訪問看護事業の実施

在宅で療養される方に対して、適確なケアとアドバイスで安心して過ごせるよう支援するとともに、看護師に加え、リハビリスタッフの充実により自宅での生活の質の向上に努め、緊急時に際しては24時間対応の体制をとり、夜間、休日でも不安なく過ごせるよう支援した。

また、住み慣れた家で最期まで過ごせるよう、医師の指示による疼痛管理や症状緩和、心のケアを行い、ご家族と共に安らかな看取りができるよう努めた。また、本年度については、新型コロナウイルス感染症の対策として、訪問時の消毒の徹底や、事務所内パーテーションの設置や換気を徹底し、感染予防に努めた。

① 訪問看護利用状況（月平均利用実人数 約108人）

訪問総回数	8,003 回
ア 介護保険 看 護	5,205 回
予防看護	553 回
イ 医療保険	2,236 回
ウ 在宅がん医療総合診療	9 回

② 主な看護内容

バイタルチェック	入浴・洗髪介助	清拭・口腔ケア	寝衣・寝具交換	移動の介助
排泄介助	リハビリテーション	褥瘡の予防・処置	経管栄養管理	在宅酸素管理
内服指導	療養指導	介護指導	食事指導	栄養指導
導尿・膀胱洗浄	呼吸器管理	吸引・吸入	散歩介助	血糖測定
インシュリン注射	PPN 管理	整容	創処置	点滴静注管理

(4) その他の在宅福祉事業

① 福祉車両貸出事業の実施

移動が困難な障害者（児）、又は高齢者等に対し、車椅子等で乗車できる福祉車両を貸出し、当該障害者（児）、又は高齢者等の社会生活の利便向上と生活圏の拡大、社会参加の促進を図った。

なお、車両の貸出しの際は、都度、消毒を行い新型コロナウイルス感染症予防対策に努めた。

ア 申請件数 26 件

イ 貸出件数 21 件（5 件キャンセル）

② 在宅用福祉機器貸出事業の実施

貸出内訳

種 別	保有台数	貸出件数
車椅子	80 台	延 70 件
白 杖	20 本	0 件
ヘルスバッグ	15 台	4 件

6 障害児（者）支援事業の推進

(1) 手話通訳者派遣等事業の実施

新型コロナウイルス感染症予防対策に充分注意しながら聴覚障害者の家庭生活ならびに社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行うため、以下の体制で手話通訳者を派遣した。

登録手話通訳者選考試験については、募集を行ったが申込みがなく中止

となった。

① 手話通訳者派遣事務所の体制

登録手話通訳者 7名

専任手話通訳者 1名

② 手話通訳者の派遣

派遣件数 148件 派遣人員 159人 電話通訳・相談等 94件

依頼内容内訳

ア 聴覚障害者からの依頼 125件

内訳 生活に関すること 36件 医療に関すること 81件

教育に関すること 6件 その他 2件

イ 行政、団体からの依頼 23件

内訳 会議 8件 講習会 2件

その他（行事等） 13件

③ 手話通訳者の養成

蕨市聴覚障害者協会並びに蕨市登録手話通訳者の協力を得て講習会を実施した。

○ 手話通訳者養成準備コース 開催数 20回 参加延人数 102人
（毎週火曜日 6/16～11/24）

○ 手話通訳者養成講習会については、申込者1名であり、本人に受講確認をした結果、辞退となった為、中止となった。

④ 会議

以下のとおり会議を開催した。

ア 手話通訳者派遣等事業連絡協議会

（新型コロナウイルス感染症の影響により12月は延期し、1月に書面会議とした）

イ 登録手話通訳者選考試験審査会

ウ 登録手話通訳者会議

⑤ 各種研修等

登録手話通訳者、専任手話通訳者の技術研鑽のため、以下の研修等を開催又は参加した。

ア 蕨市登録手話通訳者研修会（蕨市手話通訳者派遣事務所主催）

イ 市登録手話通訳者研修会（埼玉聴覚障害者情報センター主催）

（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

(2) 多機能型事業所スマイラ松原の受託経営（指定管理者制度事業）

多機能型事業所スマイラ松原は、障害者総合支援法に基づく「生活介護事業」、「就労移行支援事業」、「就労継続支援B型事業」の3つの機能を兼ね備えた「多機能型」の事業所として、地域社会との交流や、ボランティア等の受入れを通じ、利用者に対する理解と協力を得られるよう、開かれた施設づくりを進め、ホームページや広報誌を活用し様々な情報を発信し、地域の方々に親しまれる事業所となるよう努めた。また本年度については、新型コロナウイルス感染拡大による、緊急事態宣言の発令を受け、利用者の日中活動の場を確保できるよう、感染防止策を講じ、受け入れに努めた。

事業実施状況

実施日	事業内容
4月27日	スマイラ松原リーフレット発行
6月 8日～	個別面談（兼モニタリング説明会）（共通）
6月29日	定期健康診断（共通）
10月13日～	個別面談（兼個別支援計画説明会）（共通）
11月 各日	川口市グリーンセンター（社会適応訓練）（生活介護）
11月13日	蕨市総合社会福祉センター「消防訓練」（共通）
12月 8日	後期健康診断（共通）
12月22日	防災訓練（火災想定避難訓練）（共通）
12月	クリスマス会（生活介護） 24.25日
1月末	利用者満足度調査（共通）
3月	会食会※テイクアウト（社会適応訓練）（生活介護）
3月22日	防災訓練（地震想定避難訓練）（共通）

① 生活介護事業

身体機能及び日常生活能力を維持向上するために、軽作業や創作活動等を通じ必要な訓練を行った。また身体の状態に応じて入浴・排泄・食事の介護等のサービスを提供した。

ア 登録者数 39名（男26名、女13名）

平均年齢 38.9才

延利用者数 8,278名（243日）

○ 入浴サービス 165回

○ 送迎サービス 13,983回

② 就労継続支援B型事業

就労継続B型事業は、企業での就労が困難な障害等のある利用者が自主通所し、それぞれの障害状況に応じた訓練等を行い、自立と社会参加ができるように支援してきた。また、本年度は利用者1名を支援により、一般就労に繋げることができた。

ア 登録者数 18名（男14名、女4名）
平均年齢 42才
延利用者数 4,285名（240日）

イ 職業支援及び実績

それぞれの障害状況に応じた作業訓練を通して、働くことへの意欲や自信を育成し、より一般社会での労働を意識できるよう努めた。また、自立した社会生活を営むことができるよう、作業状況にあった工賃を支給してきた。

○ 事業所内作業 ■ パン製造・販売事業

■ 製品（商品）販売事業
飲料類、菓子類、自動販売機設置等
蔵ブランド認定商品の委託販売

■ 受託加工事業
証紙貼、カード封入、ダンボール糊付等

○ 事業所外作業 ■ リサイクルフラワーセンター事業等

※ 工賃支給実績

一人当たりの月平均工賃支給額 19,207円（支給対象者）

ウ 社会生活力支援

日常生活をする上での知識や習慣を身につけるよう支援した。

エ 就労支援及び実績

企業の協力により企業実習を実施した後、就労に結びついた。

実習企業 生活協同組合パルシステム埼玉
実習期間 11月18日～24日 12月23日～25日
実習内容 蓄冷材の洗浄作業

③ 就労移行支援事業

就労移行支援事業では、利用者個々の課題を分析し、就業に必要なマナー・体力づくり・作業精度の向上などきめ細かい支援を行った。

ア 登録者数 1名
平均年齢 24才

延利用者数 58 名 (243 日)

④ 日中一時支援事業、夜間保護事業

在宅障害者及び障害児のセーフティネットの一環として、日中における活動の場及び夜間における一時的保護の場を提供し、日常的に介護している家族の一時的な休息を目的とする支援活動を行った。

ア 日中一時支援事業

延利用者数 148 名
 ○ 入浴サービス 13 回
 ○ 給食サービス 22 食
 ○ 送迎サービス 146 回

イ 夜間保護事業

延利用者数 14 名
 ○ 入浴サービス 7 回
 ○ 給食サービス 28 食

(3) 障害者福祉センタードリーマ松原の受託経営 (指定管理者制度事業)

ドリーマ松原では、障害者福祉センター・地域活動支援センター・障害者就労支援センター・障害者相談支援事業の各事業を様々な職種の専門員等の連携により、市内在住の障害のある方の生活を多方面からサポートし、自立や社会参加の促進を図った。

① 障害者福祉センター

障害者福祉センター事業では、部屋の貸し出しのほか、障害のある方やその家族に対し、生活の向上につながる各種講座を開催した。本年度については、蕨市の新型コロナウイルス対応方針に従い、各部屋の貸し出しを一時中止とした。貸し出しの再開後についても、各部屋に人数制限を設け、3密にならないよう感染予防に努めた。また、各種講座については、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により大部分で中止となった。

ア 障害者福祉センター部屋貸し出し実績

部屋名	利用回数	部屋名	利用回数
福祉団体連絡室	16 回	集会室 2	70 回
おもちゃのいえ	47 回	集会室 3	0 回
録音室	37 回	その他	0 回
集会室 1 (多目的ホール)	1 回	計	171 回

イ 障害者福祉センター講座実績

実施日数	1日
講座数	1講座（絵手紙）
延利用者	6名

② 地域活動支援センター

地域活動支援センターは、障害のある方に機能訓練、社会適応訓練スポーツ・レクリエーション等の基本事業や創作的活動を提供し、社会との交流の促進を図り自立に向けた地域生活の支援を行った。また本年度については、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令を受け、利用者の日中活動の場を確保できるよう、感染防止策を講じた。また、蕨市と協議のうえ、居場所の確保や不要不急の外出抑制のため、自主通所に限り、週5日の通所を可能とするなど、受け入れに努めた。

ア 登録者数	25名（男12名、女13名）
平均年齢	56.9才
延利用者数	2,166名（242日）
○ 入浴サービス	925回
○ 給食サービス	2,033食
○ 送迎サービス	3,125回

イ 事業実施状況

実施日	事業内容
4月	お花見（3日、7日、8日）
10月	体力測定（10月1日～11月6日）
11月13日	蕨市総合社会福祉センター「消防訓練」
12月	クリスマス全体交流会（参加者15名）22日、23日

③ 障害者就労支援センター

就職支援として企業面接の同行等をはじめ、就職後も安定した生活を続けられるよう職場訪問等の支援を行った。また、離職となった際にも離職手続き等の支援を行い、再就労を目指すための訓練情報提供や施設紹介を行った。新型コロナウイルス感染防止対策としては、必要に応じたZoomでの職場定着支援や、事務所内の換気の徹底、アクリル板の設置等、感染予防に努めた。

ア 登録者数	9名（通算延登録者数87名） （身体1名、知的5名、精神3名）
就労者数	10名（通算延就労者数68名）

(知的 6 名、精神 4 名)

就職者(職種) 厨房補助業務、事務補助、介護補助等

支援方法

- 来所対応 171 件
- 電話対応 2,557 件
- 訪問対応 217 件
- 余暇活動 0 件

イ 事業実施状況

- 関係機関等連携会議
 - 個別利用者ケース会議(関係機関) 年 9 回
 - 特別支援学校主催就労関係者連携会議 年 1 回
 - 企業主催雇用障害者就労支援機関連絡会等 年 11 回
- 余暇活動 中止

④ 障害者相談支援事業

障害のある方やそのご家族の相談に応じ、障害福祉サービス等の情報提供、助言、サービスの利用支援や権利擁護、同行支援や訪問支援など当事者のニーズに基づく支援を行った。新型コロナウイルス感染防止対策としては、必要に応じた Zoom でのモニタリングや、事務所内の換気の徹底、アクリル板の設置等、感染予防に努めた。

ア 障害者相談支援事業

支援方法

- 来所相談 95 件
- 電話相談 338 件
- 訪問 48 件
- 関係機関 677 件
- その他 427 件

支援内容

- 福祉サービスの利用 857 件
- 家計・経済の支援 115 件
- 健康・医療の支援 126 件
- 不安解消の支援 559 件
- 家族・人間関係の支援 148 件
- その他 148 件

イ 指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業

契約者数 174 名(障害者 123 名、障害児 51 名)

計画相談支援・障害児相談支援(計画・モニタリング作成件数)

- 障害児支援利用計画 55件(更新含む)
- 継続障害児支援利用援助 100件
- サービス等利用計画 110件(更新含む)
- 継続サービス利用支援 291件

ウ 基幹相談支援センター

会議等

- 自立支援協議会（書面）1回 相談支援部会 5回
- 権利擁護部会 2回 地域ネット支援部会 1回
- その他 4回

虐待防止センター

実対応者数 3名（知的3名）

支援方法

- 電話相談 0件
- 訪問 2件
- 関係機関 42件
- 同行 0件

7 生活困窮者支援事業の推進

(1) 蕨市生活自立相談支援センターの受託経営

蕨市からの委託を受け、現に経済的に困窮し、生活の維持が困難となるおそれのある方々を対象に新型コロナウイルス感染症予防対策に充分注意しながら包括的な相談支援を行いました。

① 自立相談支援事業

相談受付件数 198件

（うち本人特定150件、申込件数124件）

プラン策定前支援終了件数 150件（初回スクリーニング時）

関係機関との調整件数 78件

支援調整会議の実施回数 4回

支援決定・確認件数 5件

評価実施件数 2件

生活保護受給者等就労自立

促進事業の利用要請件数 3件

住居確保給付金相談件数 2,085件

② 家計改善支援事業

相談受付件数	3 件
支援決定件数	2 件
支援延件数	19 件

(2) 生活福祉資金の貸付（埼玉県社協貸付制度）

低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的として資金の相談を行った。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による休業等により、当面の生活費に関する資金需要に対応するため、令和元年度末より3ヶ月ごとに延長を重ねた緊急小口資金等の特例貸付の受付業務を実施している。

資金の貸付件数 合計 2,209 件

貸付内訳 ○ 生活福祉資金 小計 2,207 件

福祉・教育・小口資金 貸付中件数 1,197 件

うち新規 1,167 件（教育 1 件、小口 1 件、特例 1,165 件）

総合支援資金 貸付中件数 1,004 件

うち新規 942 件（特例 942 件）

離職者支援資金 貸付中件数 4 件

要保護世帯向け長期生活支援資金 貸付中件数 2 件

○ 臨時特例つなぎ資金 小計 2 件

臨時特例つなぎ資金 貸付中件数 2 件

(3) 福祉資金の貸付（蕨市社協貸付制度）

蕨市に住民登録を有する低所得世帯で、臨時的出費又は収入欠如等のため生計を脅かされ又は、そのおそれのある場合に応急的需要を満たし生活の安定と自立の助長を図ることを目的として資金の貸付を行った。

① 福祉資金 4 件 200,000 円

② 法外援護（交通費） 7 件 2,100 円

- ③ 当年度貸付償還金 10 件（延べ） 135,000 円
- ④ 過年度貸付償還金 5 件（延べ） 35,000 円

(4) フードパントリー事業の実施

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、生活に困窮している世帯を対象に蕨市新型コロナ緊急対策の一環である生活支援・経済的対策として補助を受け食料支援を実施した。

開催日	開催場所	利用世帯数
令和3年2月25日	老人福祉センター松原会館	77世帯
令和3年3月25日	老人福祉センター松原会館	35世帯

8 赤い羽根共同募金運動並びに配分金事業の実施

(1) 赤い羽根共同募金運動の実施

戸別募金では、新型コロナウイルス感染症に充分注意した募金運動の依頼を行ったほか、街頭募金では、呼びかけ音源を活用するなど各種募金活動において新型コロナウイルス感染症予防対策に努めながら実施した。

① 赤い羽根共同募金

目 標 額 7,244,000 円

実 績 額 5,700,184 円 (78.7%)

内 訳

種 別	募金額
戸別募金	4,361,365 円
学校募金	221,960 円
街頭募金	255,698 円
個人募金	211,000 円
法人募金	275,000 円
職域募金	375,161 円
合 計	5,700,184 円

※但し、寄付者が直接、埼玉県共同募金会へ納付する直納分を含めると 6,276,975 円 (86.7%)

② 地域歳末たすけあい募金

目 標 額 7,162,000 円

実 績 額 6,653,238 円 (92.9%)

内 訳

種 別	募金額
戸別募金	6,653,238 円
合 計	6,653,238 円

③ 災害義援金

実 績 額 8,144 円

内 訳

名 称	募金額
令和 2 年 7 月 豪雨 災害	8,144 円
合 計	8,144 円

(2) 共同募金運動の広報啓発

① 啓発用チラシ、報告用ポスターの配布、掲示

(3) 共同募金配分金事業の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、参加型の各種事業は中止となった。

その他、福祉団体・町会への助成や母子（父子）世帯等への歳末慰問金、おせち料理の宅配などは、感染予防対策に充分注意しながら実施した。

① 一般募金（赤い羽根共同募金）配分金事業

【実施した事業】

ア 各福祉団体への助成（13団体）

イ 小地域活動助成（町会への助成）

ウ 広報紙「わらび社協福祉だより」5月号の発行（前掲）

エ 災害ボランティアセンター備品整備

オ 在宅介護者食事利用助成

【中止した事業】

ア 点字サークルあじさいと蕨市視覚障害者協会との親睦交流事業等、各障害児・者団体の行う事業への事業費補助及び彩の国ふれ

あいピック秋季大会への協力

- イ 蕨市お年寄りを敬う会への事業費補助
- ウ 筋ジストロフィー協会療育キャンプを助成
- エ 蕨市高校生・中学生ワークキャンプ事業の実施
- オ ボランティア連絡会研修会を助成
- カ 社協支部研修会補助

② 地域歳末たすけあい募金配分金事業

【実施した事業】

- ア 母子（父子）世帯等在宅対象者への歳末慰問金贈呈
- イ 単身高齢者等おせち料理の宅配
- ウ 母子（父子）世帯中学校卒業祝金贈呈
- エ 小地域活動助成（町会への助成）
- オ 広報紙「わらび社協福祉だより」11月号の発行（前掲）

【中止した事業】

- ア 社協支部会食事業費助成
- イ 地域世代間交流事業の実施（子ども会育成会各支部に助成）
- ウ 蕨市社会福祉大会の実施（アトラクション等一部財源）
（実施方法に変更が生じたため配分金からの支出はなかった。）
- エ 在宅介護者リフレッシュ事業（中止）

9 社協基盤確立と体制の強化

(1) 自主財源の確保

- ① 会費の増強（前掲）
- ② 蕨市立病院売店の経営

(2) 組織体制の強化

- ① 社会福祉法人制度改革に基づく法人経営の整備
- ② 多様な生活支援サービスの提供に向けた組織連携体制の整備
- ③ 関係諸会議、研修会への参加

ア 市町村社会福祉協議会常務理事・事務局長及び地域福祉推進担当課長会議

オンライン会議 担当課長（1月13日）

イ 市町村社協連絡会北足立第一ブロック情報交換会

- 戸田市福祉保健センター 担当職員（9月25日）
- ウ 埼玉県共同募金会支会長及び事務局長合同会議
彩の国すこやかプラザ 事務局長（7月1日）
- エ 公正採用選考人権啓発推進員研修
オンライン研修 担当課長（2月18日）
- オ 福祉サービス苦情解決セミナー
彩の国すこやかプラザ 担当職員（12月7日）
- カ 障害の理解とリハビリテーション高次脳機能障害編
オンライン研修 担当職員（12月15日、12月16日）
- キ 話し方・折衝・交渉力向上研修
オンライン研修 担当職員（1月5日）
その他、事務事業検討会等、会議・研修会等に関係役職員が出席した。

- (3) 災害ボランティアセンターの整備
災害ボランティアセンター立ち上げ訓練（職員向け）の実施
（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

10 特別事業

- (1) 法人設立50周年 第41回蕨市社会福祉大会表彰式の開催
新型コロナウイルス感染症の流行下で、開催する規模を縮小し、例年実施している「式典、大会宣言、アトラクション、抽選会」を中止し、開催。また、今回は、法人設立50周年を記念して、地域福祉の発展伸張に寄与された4個人3団体に、特別表彰状及び記念品を贈呈した。
 - ① 期日 令和3年2月13日（土）
 - ② 場所 蕨市民体育館小体育室
 - ③ 来場者数
受賞者 28人（特別表彰者6人、表彰状、感謝状贈呈者22人）
大会関係者等 18人
合計 46人
- (2) 第22回社会福祉センターまっりの開催
（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

事業報告の附属明細書

社会福祉法施行規則第二条の二十五第三項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人蕨市社会福祉協議会
会 長 高 橋 良 知